

医学研究に関する情報公開（オプトアウト）

「パルスフィールドアブレーションにおける左房内 ICE 使用の有用性に関する後ろ向き研究」

本研究は、当院で心房細動のアブレーション治療を受けた患者さんの診療情報を用いて、左房内の心腔内エコー（ICE: Intracardiac Echocardiography）を使用した際の有用性を評価することを目的としています。

この研究は、診療時に記録された既存の画像や手技記録、電気生理情報などを用いる後ろ向き観察研究です。そのため、研究の実施に際して、直接患者さんに新たな負担やリスクが加わることはありません。

研究の概要

- **対象者**：2025年2月から9月までに当院で心房細動アブレーション治療を受けた患者さま
- **研究期間**：倫理審査承認日から2026年3月
- **研究実施責任者**：新古賀病院 循環器内科 折田 義也
- **研究の目的**：左房内 ICE を用いた際の肺静脈隔離の急性期成功率や、透視と比較した視認性の向上などを明らかにすること

利用する情報

- アブレーション時の操作動画、透視画像、心腔内エコー画像、CT 画像
- 心電図、電気生理マッピング情報
- 診療記録の一部（年齢、性別、基礎疾患、併用薬など）

すべての個人情報（氏名、住所、カルテ番号など）は削除し、研究専用の匿名化番号で管理されます。

個人情報の管理

- 情報は研究用匿名 ID で管理され、個人が特定されることはありません。
- 匿名化キーはパスワード保護されたイントラネット内の専用フォルダに保管され、研究関係者以外はアクセスできません。
- この匿名化には、研究責任者が個人で保持する関数キー（Excel 関数）を用いて変換した番号を利用しています。

利益および不利益

- 直接的な利益はありませんが、本研究により将来のアブレーション治療の精度向上が期待されます。
- 診療の妨げや新たな検査・負担は一切ありません。

研究成果の取り扱い

- 結果は学会・論文等で公表されますが、個人が特定されることはありません。
- 研究成果はすべて新古賀病院に帰属します。

研究への参加を希望されない方へ

本研究は国が定めた「オプトアウト方式」により実施しております。研究へのご協力を希望されない場合には、下記の連絡先までお申し出ください。申し出があった場合、対象者の診療情報は研究に使用しません。

お問い合わせ先

- 施設名：新古賀病院 循環器内科
- 研究責任者：折田 義也（おりた よしや）
- 連絡先：〒830-0033 福岡県久留米市天神町 120 番地
- 電話番号：0942-38-2222（代表）
- メールアドレス：y-orita@tenjinkai.or.jp